

1. 件名：確率論的リスク評価モデルの適切性確認に関する原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和4年10月20日（木）10：00～11：50

3. 場所：原子力規制庁 16階B会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 清丸検査評価室長、米林上席検査監視官、  
笠川室長補佐、沼田主任検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口主任技術研究調査官

原子力エネルギー協議会 部長 他1名

電力中央研究所 原子力リスク研究センター チームリーダー 他1名

原子力損害賠償・廃炉等支援機構 執行役員

5. 要旨

8月29日に行われた第9回検査制度に関する意見交換会合において、原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）から、確率論的リスク(PRA)モデルの適切性確認の効率化に関する提案があったこと等を踏まえ、関係者間で意見交換を行った。

ATENAからは、適切性確認の面談時に原子力規制庁が質問を行う際、引き続き質問の意図についても示すことが望ましいといった意見が出された。原子力規制庁からは、可能な範囲で、資料が閲覧し易いような場所で対面の面談を実施することを提案し、コロナ禍の状況を踏まえつつ、実施に向けて検討を進めることとなった。

また、今後も必要に応じて、ATENA及び適切性確認の事務局である電力中央研究所原子力リスク研究センターと意見交換を行うことを確認した。

6. 配布資料

(1) 検査制度に関する事業者意見（8月29日の第9回検査制度に関する意見交換会合におけるATENA資料）

<https://www.nra.go.jp/data/000402410.pdf>